

# ヒートポンプ技術 マガジン

VOL.41 NO.2 / 2023

## 「レジリエントで高効率な ヒートポンプ」

### 第 14 回 IEA ヒートポンプ国際会議の報告



ヒートポンプ技術の最新の洞察と開発に関する包括的な情報源、ヒートポンプ技術マガジン第 2 号へようこそ。今号ではヒートポンプの中核にあるレジリエンス、効率、イノベーションを強調する説得力のあるトピックについて掘り下げます。

「序文」では、「レジリエントで高効率なヒートポンプ」と題する魅力的な概要記事をご覧ください。Thomas Fleckl 氏の専門的な監修の下、シカゴで開催された名高い第 14 回 IEA ヒートポンプ国際会議から重要なポイントを抽出し、ヒートポンプ技術の未来を形作る最先端の研究を明らかにします。

「コラム」では、「空を再び青くするための重要な対策」に関する魅力的な談話を紹介します。Xu Ce 氏らは、北京の農村部における空気熱源ヒートポンプのアプリケーションについて示唆に富む視点を提供しています。持続可能な開発と環境の責務においてヒートポンプが果たす重要な役割についての洞察を得て頂きたいと思います。

「ヒートポンプ技術ニュース」で最新情報を入手してください。IEA ヒートポンプ技術協力プログラムの重要人物を含め、2023 年ピーター・リッター・フォン・リッティンガー国際ヒートポンプ賞や 2023 年 IIR 科学賞の受賞者などのハイライトをご覧ください。IEA の 2023 年クリーンエネルギー進捗レポート (TCEP) を掘り下げ、世界規模のエネルギー移行に不可欠な技術にスポットライトを当てます。ストックホルムで開催された国際会議の談話から、欧州暖房セクターの脱炭素化を解説します。米国の電気式ヒートポンプ製造に対する 2 億 5 千万米ドルもの影響力ある投資もご覧ください。

「2023年にシカゴで開催された第14回 IEA ヒートポンプ国際会議の報告」では、会議のハイライトを追体験します。オープニング、ワークショップのサマリー、先駆的なパデュー大学の研究、包括的なプレゼンテーションの報告に参加してください。

これらのページを横断して、ヒートポンプ技術のダイナミックな世界を探索し、学び、関与してください。効率を再定義し、持続可能でレジリエントな未来を推進する進歩を称賛ください。

[ヒートポンプ技術マガジンを購読する](#)

[ニュースや最新情報、更に詳しい情報については、ウェブサイトをご覧ください](#)

[Read HPT Magazine](#)



## 第14回 IEA ヒートポンプ国際会議 開会・基調講演報告

5月16日、[第14回 IEA ヒートポンプ国際会議](#)が開会しました。会議のテーマは「レジリエントで高効率なヒートポンプ」で、25か国から400人の参加者が参加しました。

国際エネルギー機関（IEA）の Fatih Birol 事務局長は基調講演で、ヒートポンプは多くの政策立案者にとって重要な暖房技術になりつつあり、ヒートポンプが世界全体で2桁成長を遂げていることは IEA にとって喜ばしいが、ポテンシャルははるかに高いと認識していると述べた。その他、米国エネルギー長官の Jennifer Granholm 氏、欧州委員会エネルギー総局副局長の Metchild Woersdoerfer 氏、IEA ヒートポンプ技術協力プログラム議長の Stephan Renz 氏、IIR 総会議長の Min Soo Kim 氏、メリーランド大学教授の Reinhard Radermacher 氏、電力研究所（EPRI）の電化および持続可能エネルギー戦略担当副社長の David Porter 氏より基調講演が行われた。

注目の画像: 著名な基調講演スピーカーには Jennifer Granholm 米国エネルギー長官がいました。  
(写真: オークリッジ国立研究所 Carlos Jones 氏)

[Read full article](#)



## 第 14 回 IEA ヒートポンプ国際会議 ワークショップ・テクニカルセッション報告

研究やプロジェクトの知見の共有は「会議の体験」の重要な側面です。第 14 回 IEA ヒートポンプ国際会議のプログラムによって参加者が集まり、意見やアイデアを交換する多くの機会が提供されました。

シカゴでの第 14 回 IEA ヒートポンプ国際会議の開会前に、さまざまな国際協力プロジェクト（Annex）の OA とヒートポンプセンターによる 9 つのワークショップが開催されました。[ワークショップの概要はこちら](#)。会議の活気に満ちた雰囲気の中で、様々な専門家や熱意ある人々が集まり、ヒートポンプ技術のフロンティアを推進する議論やプレゼンテーションに参加しました。テクニカルセッションは 6 つの記事にまとめられており、オンラインで読んだり、PDF でダウンロードしたりできます。以下のタイトルをクリックすると記事にアクセスします。

[産業用 HP・廃熱](#)

[市場と政策](#)

[スマートグリッド、地域冷暖房、蓄熱と HP の統合](#)

[冷媒](#)

[地中熱 HP、要素部品、システム開発](#)

[吸収式および新規技術](#)

注目の画像: Lucas Oppelt 氏による発表。廃坑となった鉱山を加熱・冷却の熱源として使用した結果。  
(写真：オークリッジ国立研究所 Carlos Jones 氏)



## 第 14 回 IEA ヒートポンプ国際会議の 論文集とプレゼンテーションを公開!

2023 年 5 月、第 14 回 IEA ヒートポンプ国際会議が「レジリエントで高効率なヒートポンプ」をテーマにシカゴで開催されました。会議で発表された論文と大半のプレゼンテーションが IEA ヒートポンプ技術協力プログラム (HPT TCP) のデータベースから無料で入手頂けます。

第 14 回 IEA ヒートポンプ国際会議の成功は、ヒートポンプ技術の進歩における国際協力の重要性を物語っています。世界が冷暖房の持続可能なソリューションを模索する中、この会議は進歩の道しるべとして機能し、専門家とステークホルダーが集まり、よりレジリエントで高効率な未来に向けた道筋を描くことができました。影響力のある論文は貴重な洞察と研究結果をもたらし、エネルギー効率、持続可能性、レジリエンスといった重要な課題を解決するヒートポンプの最先端の技術開発について掘り下げています。

[HPT TCP 出版物データベースから論文やプレゼンテーションが個別にダウンロードできます](#)

[すべての論文はこちらからダウンロードできます](#)

[Read full article](#)

[Homepage](#)

[Contact us](#)

[Forward to a friend](#)

Newsletter hosted by

RISE Research Institutes of Sweden



[Unsubscribe](#)

この HPT Magazine の効果的な活用のため、今後改善を図っていきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見、ご要望などを下記事務局までお寄せ下さい。

事務局連絡先：(一財) ヒートポンプ・蓄熱センター 国際・技術研究部  
IEA HPT TCP 日本事務局 旭 貴弘  
TEL: 03-5643-2404 FAX: 03-5641-4501  
e-mail: [asahi.takahiro@hptcj.or.jp](mailto:asahi.takahiro@hptcj.or.jp)